

## 請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	平成 29 年 5 月 31 日 第 6 号
件 名	公衆浴場の確保と高齢者むけ入浴券施策の拡充に 関する請願
請 願 者	文京区千駄木一丁目 22 番 22 号 藤代東洋夫
紹介議員	金子 てるよし
請願の要旨	次頁のとおり
付託委員会	厚生委員会

## 請願理由

都内の公衆浴場は平成 28 年 12 月末で 602 軒となり、文京区内では根津・弥生、千駄木 1～4 丁目、向丘、西片、本郷、湯島、本駒込、千石へと浴場空白が広がっています。

一方、区内の公衆浴場は 7 箇所、浴場組合を始めとする利用者拡大にむけた取り組みは、利用者や地域でも歓迎されており、私たちも大変心強く思っています。

こうした中、東京都浴場対策協議会は「公衆浴場が地域に根差した拠点としてその役割を果たしてゆくために」「区市と連携した」さまざまな施策に「積極的に取り組むよう」「協議会意見」を公表しています。

私たちは、公衆浴場の確保と銭湯文化存続と発展を願い、以下のことを要望します。

## 請願事項

- 1 「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」に基づいて、区として浴場空白地域に公設民営などの方式で公衆浴場をつくってください。
- 2 文京区のシニア入浴のような高齢者向け入浴券の隣接区市間での「相互利用」が促進されるよう東京都の財政支援を含め、東京都に対し区議会として要望してください。